哲學研究

第四十四卷

第八册

第五百十四號

昭和四十五年六月一日發行

論理學の研究』を讀んで 山	北川秀則著『インド古典	書評	於ける認識と存在との關係 長	ブロンデルの『行動』(1893)に	機能主義の展開と知覺の問題… 大	知覺理論に於ける	逸脫の行爲―狀況理論 中
下			谷		33		久
Œ			正				
男			當		蓁		郞

京都大學文學部內
京都哲學會

、本會は廣義における哲學の研究とその普及を圖る

、右の目的のために左の事業を行う

毎月一回會誌「哲學研究」を發行する

毎年公開講演會を開く

随時研究會を開く

ことを目的とする

員

、本會の事業を遂行するために委員若干名をおく

委員は京都大學文學部哲學科教官及び委員會におい

吉湯山森本武松藤服野長中辻武園重梶柿上井井石池有

、會員は會誌の配布を受け會誌に豫告する諸種の行

但し 二回又は三回に分納することもできる

を含む)を前納する

事に出席することができる

、會員は會費として年二、四〇〇圓(會誌十二冊分

會することができる

、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けな

學校・圖書館・其他の團體は團體の名を以て入

、本會に賛助員若干名をおく 賛助員は會員の中か

て推薦したものに委嘱する

ら委員會が推薦する

、規約の改正は委員會の決定による 、本會は事務所を京都大學文學部内におく

岡淺 口吉藤尾澤部田尾 村内原澤山崎野 田福 田美 上島田 健

都良一義令正又雅

郎孫晶男治雄海夫明夫人郎一範郎郎一一夫俊勉仁祐岳

委

		論	文		告
普遍の問題浅	郭煕の林泉高地と早春図	水墨画に関する一考察山	認識と存在との関係長	ブロンデルの『行動』(1893)に於ける	その思想の形成
野		岡	谷		Đ
楢		泰	Œ		
英		造	当		q

前	号	B	次
志	لا : ع	プ	フ
向	: <u>-</u>	ロ チ	1 E
性		その1――知的紫4ロチノスの素材論・	ヒテの晩年の思想について済
:	認識論に	1 0	
	100 100	-知的素材と愛素 材論・・・・・・	年 の
	おけ	素 論 材 :	思
:	ける信念の考察	と 愛	17
:	: 信		V
•	の 考		7:
<u>.</u>	※	<u> </u>	:
木	岡	·田之頭	斎
村	本	頭	膨
慎	藤	安	彰
哉		彦	~

、本會は會員組織とし會員には資格の制限を設けま 告

哲學會)宛に規定の會費(年二、四〇〇圓又は半年 又會員への會誌送付、バックナンバー購入及び發賣 に關する一切は東京都千代田區一番町一七番地三号 一、二〇〇圓)をお拂込下さい

學部內京都哲學會(振替口座京都四〇三九番

せん、入會希望の方は京都市左京區吉田京都大學文

、會費切れの場合は封筒に「前金切」の印を捺しま $\underline{\mathbb{D}}$ の事情による過不足は一年(又は半年)毎に清算し は牛年分)、 會費は原則として本誌十二冊 (又は六 すから直ちに京都哲學會宛御拂込下さい(一年分又 創文社(振替口座東京九二四七二番)宛に願います の送付濟を以て前金切れとし、會費の變更其他

、本誌の編集に關する通信・新刊書・寄贈雑誌等は 、會員の轉居・入退會の事務及び編集事務の一切は 京都哲學會宛に御通知下さい

> 註 文

> 規

定

本會宛にお送り下さい

ます

京 都 京 京都 都 大 市 學 左京區 文學 吉 部 内田

> 昭和四十五年 昭和四十五年 六 五. 月二十五日印刷

發編 月 行集 人兼 日発行 京 京 都

哲

壓

部

內 會

編集代表 都 大 福 學 文 孝 學

岳

藚

捌

所

會株

社式

社 男

保 創

井

理 文

津

振替口座 東京 九二四七二番 東京都千代田區一番町一七番地

東京都千代田區三崎町ニノ一八 電話東京二六三一七一〇一(代表) 堀 内 印 刷 所

印

刷

所

一、會員以外の購讀者の御註文及び廣告掲載に關する 件は「創文社」へ御申込下さい

五〇圓、送料・四〇圓)前金にてお送り下さい 本誌の御註文はすべて代金送料共(一部、定価二

THE JOURNAL OF PHILOSOPHICAL STUDIES

THE TETSUGAKU KENKYU

Published Monthly by

"L'Actions" (1893) de Maurice BlondelShôto Hase

THE KYOTO PHILOSOPHICAL SOCIETY

(The Kyoto Tetsugaku-Kai)
Kyoto University

Kyoto, Japan